

待機児童解消緊急アクションプラン

平成27年6月2日

船橋市 健康福祉局 子育て支援部 子ども政策課・保育課

本市の保育所待機児童数の現状

- 平成27年4月1日の市基準待機児童数は、**1,067人(国基準で625人)**
- 1～2歳児が待機児童の大半**を占める。

【市基準】				
	H26.4	H27.4	増減	増加率
0歳	73	146	73	200%
1～2歳	583	715	132	123%
3～5歳	133	206	73	155%
合計	789	1,067	278	135%

【国基準】				
	H26.4	H27.4	増減	増加率
0歳	11	64	53	582%
1～2歳	285	423	138	148%
3～5歳	27	138	111	511%
合計	323	625	302	193%

《待機児童数増加の主な要因》

①全市的な保育需要の増加

就学前児童の人口は減少している（前年度比1.2%減）が一方で保育需要は市内全域で増加（前年度比3.9%増）。

	H26.4	H27.4	前年比	
0～5歳人口	A	34,360人	33,932人	1.2%減
保育需要(※)	B	10,096人	10,490人	3.9%増
保育需要率	B/A	29.40%	30.90%	

※保育需要：各年4月1日現在の利用者数+市基準待機児童数

②大・中規模マンション開発の急増

大規模マンションのほか、中規模のマンションや宅地開発が急増し、局地的に子育て世帯が増加。

③4月の供給量<需要の伸び

一部開園遅延等で4月時点の受入枠増加数が保育需要の伸びを下回った。

④保育士の不足を要因とした待機者増

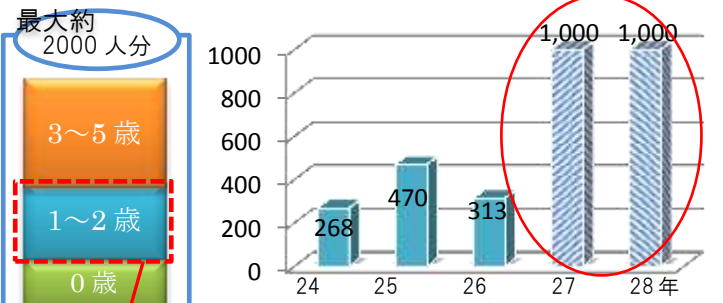
保育士の不足を要因とし、認可定員までの受入れができないことによる待機者が増加した。

緊急対策① 保育の受入枠の緊急拡大

1・2歳の待機児童715人分を中心に保育の枠を緊急確保します。

《整備の加速化》

待機児童の大半を占める**1・2歳児の待機児童715人分**(平成27年度現在)の確保を**27・28年度の確保目標値**として設定します。(0～5歳では最大約**2,000人分(※)**の保育の枠を整備。)



※最大約2,000人とは…
1～2歳児715人分を定員90人規模の認可保育所のみで確保するとした場合に必要な0～5歳の整備量

認可保育所・小規模保育事業の効率的整備

- 需要に応じた効率的な整備**を行うため、特に待機児童の多い地域を「最優先」「優先」募集地域として定め、事業者を選定します。

最優先地域	優先地域
西船橋	船橋
津田沼	東船橋
南船橋	前原
法典	菜円台
新船橋	北習志野
塚田	下総中山

- 新設に比べ短期間で開設が可能な賃貸物件**を活用した整備や、随時の自主整備を受け付け、**スピード感を持った整備**を行います。

既存施設の定員拡大

- 新たな整備を伴わず待機児童解消に即効性のある既存施設の**定員の増員**について、**私立認可保育所と個別に協議**を行います。

特に待機児童の多い地域を緊急整備

緊急対策② 保育士の緊急確保

船橋市内の保育所等で働く保育士を緊急確保します。

《保育士不足を要因とした待機の解消》

- 公立保育所において、**保育士の不足により認可定員までの受入れができないことによる待機者が増加しているため、保育士の確保に向けた緊急対策**を実施します。

【公立保育所における保育士不足を要因とした待機児童数】

0歳	1～2歳	3～5歳	全年齢
84人	136人	68人	288人

(H27.4.1 現在)

保育士の処遇改善

- 市内保育所等で働く保育士の処遇改善を図ります。

保育士確保キャラバンの実施

- 保育士養成校に出向き、卒業後の就職先として船橋市内の保育園をご案内する**保育士確保キャラバン**を実施します。

《船橋市内の保育所等への就職促進》

船橋市内の保育所等への各種就職促進事業を実施します。

保育士養成修学資金貸付制度

指定保育士養成校に在学していて、将来船橋市内の保育園で働く意思のある方に、**修学資金の貸付**を行います。

保育現場復帰のための職場体験

保育現場から離れてブランクがあるため、**不安感から就労に踏み切れない保育士資格を持つ方**のために、保育園の職場体験や見学会を実施することで現場の雰囲気を知ってもらい、**再就職**につなげるお手伝いをします。

